

世田谷美術館リオープン記念パフォーマンス

微か

2012年4月6日(金)・7日(土)・8日(日) 企画展示室A

構成・振付・出演：ボヴェ太郎



世田谷美術館は改修工事を終え、2012年3月31日より再開いたします。
春の3日間、企画展示室Aは、特別なパフォーマンスの舞台になります。

[アーティスト・コメント]

私たちは風景と共にある、

そのように感じて頂ける場になればと願っております。

微かな気配のうつろいに五感を澄まし、風景が語りかけて来るときを待つ。舞の訪れを待つ。

大切なことは、おのずから変化してゆく関係性の流れに、身をそわせてゆくことではないかと感じております。

ボヴェ太郎

ボヴェ太郎 | <http://tarobove.com>

舞踊家・振付家。1981年生まれ。“空間の〈ゆらぎ〉を知覚し、変容してゆく「聴く」身体”をコンセプトに創作を行なう。主な作品に『不在の痕跡』、『implication』、『余白の辺縁』、『Texture Regained -記憶の肌理-』等。劇場作品のほか、『in statu nascendi』(世田谷美術館)、「カンディンスキー展」における公演(京都国立近代美術館)、『陰翳』(国指定重要文化財・旧岡田家住宅)等。近作に、能楽との共演による『消息の風景-能《杜若》-』、『Lingering Imagery of Reflection -能《井筒》-』、『静寂の焰-能《葵上》-』がある。

世田谷美術館リオープン記念パフォーマンス

微か 2012年4月6日(金)・7日(土)・8日(日) 企画展示室A

構成・振付・出演：ボヴェ太郎

2012年春 — 静けさに身を浸さなければ、見えないものがある



約9ヵ月に及ぶ改修工事を終え、2012年春に再び開館する世田谷美術館。砧公園の一角にある当館は、樹木の伐採や建物の高層化を避けるなど、自然との共生をテーマに設計されています。とりわけ企画展示室Aは、ゆったりと枝を広げる大きなヒマラヤ杉などを一望できる特別な空間です。

自然と人間の関係を見つめ直す動きが広がっています。私たちはリオープンによせて、自然との「共生」をめぐる静かな思索のひとつを、『微か』というパフォーマンスを通じて提供したいと考えています。

公演をお楽しみいただいた後は、庭園の眺めが素晴らしいレストラン「ル・ジャルダン」や新設のカフェで、ゆっくりと余韻を味わっていただけます。

木々、風、光一刻々の微かなる変化に応答する、ボヴェ太郎のダンス

『微か』を構成・振付・出演するボヴェ太郎は、“空間の〈ゆらぎ〉を知覚し、変容してゆく「聴く」身体”をコンセプトに創作を続けています。劇場公演のほか、近年は重要文化財の邸宅など、独自の存在感をたたえる空間に寄り添った作品づくりも増え、当館の「トランス/エントランス」第7回(2009年)にも出演しています。今回のボヴェは、ガラス窓の向こうで木々、風、光が微かに、そして確かに変化してゆくことに応えて舞います。また、毎公演後にアフタートークを行い、パフォーマンスが生まれる過程などについて、アーティスト自身が語ります。



Photo: Shimizu Toshihiro

世田谷美術館リオープン記念パフォーマンス 『微か』 開催概要

日時：2012年4月6日(金) 14時、7日(土) 11時/14時、8日(日) 11時/14時

開場は開演30分前 各回アフタートークあり

会場：世田谷美術館 企画展示室A 定員：各回40名

構成・振付・出演：ボヴェ太郎 音楽：原摩利彦

料金：予約/2000円 当日/2500円(中学生以下無料 未就学児童のご入場はご遠慮下さい)

予約：WEB=Taro BOVE Dance Performance <http://tarobove.com/reservation>

電話=世田谷美術館 教育普及課 03-3415-6346 (10時-18時 月曜日)

主催：公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館 <http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>取材等のお問合せ：世田谷美術館 学芸部 塚田美紀 m-tsukada@samuseum.gr.jp